



鉄研旅行記

2009 年度夏季鉄研旅行記 「夏の逃避行」 中学三年 米持 穂澄 P.16

個人旅行記

Track -ZERO- ～鉄研夏旅行前日譚～ 「夏の碓氷峠」 中学三年 米持 穂澄 P.2

銚子への旅 夏編 -Terminal Memory ターミナルメモリー- 高校一年 横溝 真沙樹 P.36

研究発表

500 系新幹線 高校一年 横溝 真沙樹 P.52

中央線 201 系 高校三年 富岡 優也 P.62

東急 5000 系 中学三年 山田 拓也 P.67

東急池上線 中学二年 町田 大樹 P.75

成田スカイアクセス線 中学二年 新川 航平 P.82

顧問

九州リレー旅行記 顧問 松崎 武史 P.88

停車場とは……

旅行・鉄道研究部の活動を、部員がそれぞれ執筆し、その記事を冊子としてまとめたものです。

鉄研部員からの視点から見た鉄道の世界を、どうぞご覧ください。

表紙写真 Photo by H.Yonemochi

表紙編集 H.Yonemochi

全体監修 R.Nakagawa



8月6日 金曜日

梶が谷	5時10分発	(東急田園都市線 各停 久喜行き)	渋谷	5時29分着
渋谷	5時40分発	(JR 山手線 外回り)	池袋	5時55分着
池袋	5時59分発	(JR 埼京線 普通 大宮行き)	赤羽	6時08分着
赤羽	6時13分発	(JR 高崎線 普通 高崎行き)	高崎	7時47分着
高崎	7時59分発	(JR 信越本線 普通 横川行き)	横川	8時33分着

■低血压にはきつい朝・・・

早朝、4時。ものすごく眠い寝起きだった。が、とりあえず起きねばならない。この日は、鉄研夏旅行の集合日だ。そう、集合日、あくまで集合日、なのだ。しかも集合時刻は22時45分。あまりに早すぎる。

が、それでも俺は起きて旅行の支度をした。横川に行くためである。携帯、よし。財布、よし。iPod、よし。PSP、よし。デジカメ、よし。充電器、よし。その他備品、よし。

昨日のうちに用意したものを再度確認して、シャワーに入って汗を流す。やっぱ朝シャワーは気持ちいい……。

適当に準備していると、母が起きてきた。なぜか旅行の準備らしきことを……。どこに行くのだろうか……。

始発電車に乗るために、4時50分に自宅を出発。外は微妙に暑かった。近くのコンビニで朝食を購入。とにかくおにぎりを買った。駅までの通路を歩いていると、ちょうど日の出た。綺麗ななあ……。

梶が谷駅に到着、まだ電車は来ていない。

ここからが非常にめんどくさいのだ。

まず渋谷に行き、山手線・埼京線・高崎線を乗り継いで高崎、そして横川へ行く。

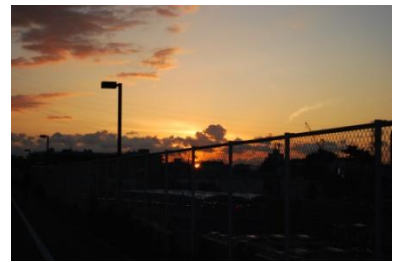
朝っぱらからどんだけ乗り換えるんだよ……、とツッコミたいのだが、いかんせん朝なので列車の本数が少ないのだ。

しかも使える金は限られているので新幹線に乗ることもできない。だからこんなに時間がかかるうえに乗り換えが多いのだ。

梶が谷で渋谷方面の始発電車に乗り、iPodで音楽を聴きながら寝た。

最近音楽聴きながら電車で寝ている気がする。

20分で渋谷に到着、ここでJRに乗り換える。



日の出の様子



田園都市線久喜行き(8500系)



山手線外回り(E231系)

■久しぶりの首都圏逃亡

が、その前に横川までの切符を買わなければならない。

PASMOで普通に入ればいいのだが、旅行中はPASMOを使いたくないのだ。かと言って普通の券売機では横川までの普通乗車券(小さい磁気のやつ)を買うことはできない。距離が長すぎるからだ。

なので、となりの指定席券売機(通称、マルス)で乗車券を購入。

緑色の大きい切符が出てきた。

うへん、こういう切符を見ると旅に出るって気分になるよなあ。

山手線のホームに上がると、人でごった返していた。

うわあ、出た、山手線の早朝ラッシュ……。

どうということかという、早朝(4時とか5時)はなぜいつも人が多く乗る。にも関わらず列車の本数が1時間に5本しかないために、軽くラッシュ状態になるのだ。

ちなみに去年の鉄研夏旅行でも同じことが起き、その時もぎゅうぎゅう詰め列車に乗るはめになった。

今回もまた同じような感じであり、結局座ることはできなかった。

池袋に着くと、人がどンドン降りて埼京線のホームへと向かう。

え? え? みんな埼京線乗っちゃうの?

ほとんどが埼京線に乗ってしまった。座れないじゃん……。

仕方がない、全面展望でも見てるか……。

池袋～赤羽間は、通称赤羽線と呼ばれる区間である。

埼京線は大崎～池袋間は山手線、赤羽～大宮間が東北本線の支線扱いになっており、池袋～赤羽間だけが新線扱いになっている。

言ってみればこの区間だけが赤羽線であり、埼京線なのだ。

首都圏唯一の205系は懐かしい(?)音をあげて赤羽に向かう。

このがたがた揺れる具合は最近の新車にはないものだよなあ。

気づいたら赤羽に到着。さあて、高崎線に乗りますか……。

朝だからやはり通勤客で混む。が、なんとか一番前の車両のボックス席に座ることができた。ふう、楽だじゃ……。

去年よりは空いている方か……?、とか考えていると浦和で大量に乗ってきた。

うえ、また通勤電車モードだよ……。

狭いボックスに縮こまりながら、外の景色を見る。

やべ、眠い……。音楽聴かなきゃ……。

大宮に着いたので、留置線群をしてみる。

廃車になった253系やEF60がいた。

撮りたかったなあ……。

大宮を過ぎると、いつの間にか寝てしまっていた。zzz……。

……。んあ、もう本庄かあ。



埼京線大宮行き(205系)



高崎線高崎行き(E231系)

車内にて iPod で聴いてきた曲

■ 梶が谷駅までの道で

渡辺貞夫

「Morning Island」

Lia

「TORCH」

■ 梶が谷～渋谷間

ゲーム 「リトルバスターズ!」より、

「Little Busters! OST」

■ 渋谷～赤羽間

アニメ 「Angel Beats!」より、

「Angel Beats! OST」

■ 赤羽～高崎間

ゲーム 「CLANNAD」より、

「CLANNAD OST」

ジン

「トーン・ジギ」

「メイ」

※OST はオリジナルサウンドトラックの略

サントラばかりなのはご愛嬌……

■いざ、峠へ

7時47分、高崎に到着した。久々だなあ、群馬。

となりの107系に乗り換える前にすることがある。

107系のとなりにいる伊勢崎行きの115系の撮影だ。

こういうことをするところがなんというか鉄オタっぽいよな……、

とか考えながら何枚か撮影。

最近は下から覗き込むように撮影ことが多い。

その方がなんとなくプロっぽいからだ。

別に誰かのスカートの中を見たいとかそういうわけじゃない。うん。

さて、跨線橋をもっかい渡って、107系に乗る。

107系は、1980年代末、山岳路線に未だいた古い車両、特に165系などの車両を置き換えるために、1988年に登場した車両。

低コストで、朝ラッシュ時には通勤電車にも化けられる3扉のため、すぐに高崎から165系を追い出していった。が、モーターや台車などの床下機器や、ブレーキ・冷房機器などは165系の廃車から代用したもので、姿こそ違おうが、165系ともいえる車両ではある。

まあ、個人的には嫌いだけどな。

4両のうち、前から3両目の優先席に座る。

平日の朝なのに人が非常の少ない。群馬だからか夏休みだからか……。

耳が疲れたのでiPodを一旦終了、PSPを取り出してゲームを始める。やるのは去年出たゲーム、「DISSIDIA ユニバーサルチューニング」だ。いわゆる格ゲーというやつだが、今までやってきたゲームの中でこれが一番楽しい。だからこそこんな古いゲームを未だにやっている。

一瞬ガクッと揺れ、7時59分、高崎を出発。

165系に乗ったことはないが、国鉄的なこの音は好きだ。

この車両は、急勾配や雪に特化した100番台で、過去には横軽(廃止された横川～軽井沢間の略称)を登ったこともある。

こんな2両とかでしかないのに、後ろにEF63をつけて登ったのだ。

それほど横軽が難所であったことがうかがえる。

空は快晴で、雲ひとつない。

こんな空のなか山登りはきついな……。

途中の磯部駅の手前で対向の115系とすれ違った。

磯部駅に着くと、それまで乗っていた学生群がほとんど降りた。

ああいうのを見ると、田舎って感じがするよなあ。

横川に降りたのは、ざっと50人くらいだった。

8時33分、横川駅に到着。



両毛線伊勢崎行き(115系)



ついていたヘッドマーク



信越本線横川行き(107系、横川にて)



高崎での並び(左115系、右107系)



高崎駅名標



おぎのやの屋台



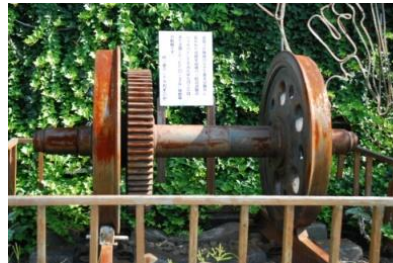
軽井沢駅行きバス



留置線があった場所



横川駅舎



EF63 動輪



軽井沢へ続く線路

■峠の入り口、横川

ついたぞおおお！！ うおおおお！！

……と、叫んでみたかったがそんなことはしなかった。

雲が全然ない空、東京みたいに黄色くなく、透き通っている。

周りには高い山々が囲っており、まさに峠の入り口である。

さて、どうしようか……。

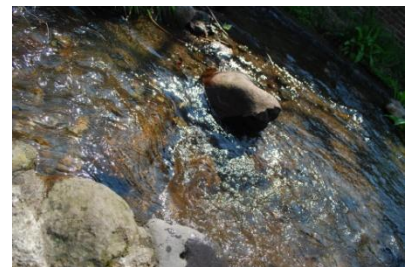
予定では碓氷峠鉄道文化むらに入り、その後山登り、戻ってきて

そのまま鉄研旅行へ。だいたいそんな感じだ。

で、まず碓氷峠鉄道文化むらに入るのだが。

「開園は9時です」の掛札。まだ20分くらいあるし……。

適当に駅の周りをふらつく。近くを通る川を眺めたり、駅の自動改札を撮影したりして暇つぶしをした。う～む、田舎だから静かだなあ…。



川ながれ(河童は流れてこない…)

写真の置き場がない！

そろそろ9時か、ふと文化むらの入り口を見ると、すでに人が。
受け付けのおばさん(お姉さんだったか?)に900円を払い、入場。
入園料(500円)とトロッコ列車片道(400円)である。

トロッコ列車は山から下ってくる時に使う。

さて、まずは適当に撮影するか……。

まずは189系あさま。これは国鉄標準色だが、むらの奥にはあさま色の189系もある。

189系は、横川～軽井沢間の急勾配をEF63との協調運転によって
車両の両数を多く通過するために1975年に登場。

これにより、今まで電車は8両までしか横軽を通過できなかったが、
12両まで輸送力を増強することが可能になった。

主に長野運転所に配備され、特急「あさま」などに使用された。

で、ここに静態保存されているオンボロ電車だが、中は電気・エアコンが作動し
てなく、クソあつい。とても休憩できる感じではなかった。

次に、車庫に入っているEF63。

先ほどからたびたびこの名前が出ているが、これこそ横軽において
重要な車両である。

まず、なぜ横川～軽井沢間が難所と呼ばれたか、それを説明しよう。

中山道に沿うかたちで作られた信越本線、その中に碓氷峠と呼ばれる
難所があった。それを超えるには、連続66.7パーミルという急勾配が
不可欠となり、その勾配を超えるためには普通の粘着運転では不可能
だった。(1890年代当時)そこで、レールとレールの間にラックレールと

いう線路を敷き、それを車両につけた歯車と噛み合わせることで
車輪の空転を防ぐという、アプト式鉄道の方式を用いることになった。
これによって1892年にアプト式による官営鉄道中山道線が開通した。

この時のアプト式補助電気機関車が、ED42である。

その後、技術の進歩により粘着運転(通常の鉄道運転)が可能になり、
1963年にアプト式を廃止、旧線の近くを通る新線が開通した。

が、しかし粘着運転と言っても列車単独での運転は不可能であり、
列車の前後に(登る際は後ろ、下る際は前に)補助機関車を連結せざる
を得なかった。

この補助機関車こそ、EF62とEF63である。

主に連結器の強化、非常ブレーキの強力化などが行われた。

これにより、所要時間は下りが17分、上りが24分に短縮された。

そして、1997年の北陸(長野)新幹線の開通まで、走り続けた。

この碓氷峠鉄道文化むらには現在9両保存されている。

奥にはED42が隠れるように保存されていた。

以前は車庫には入っていなかったが、いつの間にか車庫にいた。

暗くて、気付かない人もいるのではなかろうか……。

いい機関車なのだから屋外に置くべきである。



クハ 189-506



EF63-10



EF62-1



ED42-1

次に向かったのは、資料館。この建物はもともと横川運転所のもの。

そのため外観は普通の事務所と全く同じ。

中には模型(HO・N)ゲージのレイアウトがあった。

※HO はホロニウム、N は窒素、**ではありません。**

HO、N は**鉄道模型のスケールサイズ**のことです。

暑いのでレイアウトの前で涼んでいると、模型運転が始まった。

鉄博でいうアレである。交通博物館でいうアレである。

が、まあ施設が古いから仕方がないのかもしれないが。

走っている車両が古いのだ。今走っている車両がほとんどない。

165系、189系、209系(京浜東北線)、253系(成田エクスプレス)、

500系(のぞみ)、400系、24系(あさかぜ)

まだいっぱいいた気がするが、ほとんどがもう走っていない車両だ。

が、案内放送では未だに走っていることになっている。

さすが群馬県の博物館、やはり年代が少しばかり遅れているようだ。

最初は俺とおっさんしかいなかったが、5分くらいするとガキどもが
わらわらやってきた。

くそっ、せっかく静かだと思ったのに・・・！

5分間ぎゃあぎゃあうるさいガキどもと共にレイアウトを見て、

上の階に移動。さすがに資料だけのところには来ないか……。

適当に資料を見て、人が上がってきたところで資料館を出た。

むらの奥にある鉄道車両の屋外展示スペースに向かう。

ここには、ありとあらゆる国鉄車両が静態保存してある。

もちろんあるのは国鉄車のみで、JR車など微塵もない。

壮観ですなあ。



HO ゲージレイアウト



N ゲージレイアウト



屋外展示スペース

■ 静態保存車両



キハ 20-467



D51-96



EF65-520



クハ 189-5



キハ 35-901



DD51-1

■山登り

去年にある程度見たので詳しくは見ない。それよりも

なんか外の気温上がってきたのですが……

たぶんこれは30度越えているのでは……？

これから山登りするということになんのいじめなのか？

やだなあ、とか思いながら昼飯の峠の釜めしを買う。

峠の釜めしというのは、横川駅の駅弁のことだ。

横軽時代、列車に補助機関車を連結・切り離し作業中の時間に、客にこの駅弁を売り始めたのがきっかけ。

今でも有名な駅弁として知られている。現在は横川駅のみならず、文化むらの園内、新幹線の車内販売、高崎線の熊谷駅でも売っている。買った方がいいがここでは食べない。カバンにしまう。

一回むらを出て、さてここからが山登りだ。

目指すは碓氷峠、知る人ぞ知る、碓氷第三橋梁、通称めがね橋だ。

めがね橋は、アパート時代に建設されたアーチ式鉄道橋である。

1893年に完成、横軽廃止後も、碓氷峠にかかっている。

現在は遊歩道として整備され、そこまで廃線跡を歩いていけるのだ。

遊歩道の入り口近くのベンチに一回荷物を置き、水道でタオルに水をかける。つめてー。

濡れたタオルを首に提げて、山登り開始。あっつい……。

去年は雨が降ってて、涼しかったなあ。

廃線跡に合流すると、EF63が試運転を行っていた。

EF63の体験運転ができるらしいが、車の免許を取らないとできないらしい。運転してみたいとは思うのだが、免許を取るのは……。

運転士らしいおじさんが作業しているのをぼーっと見て、歩いた。

去年はその切り通しの線路に、猿の家族がいた。

たぶんオープンキャンパスで右と同じ写真を見た人がいるはずだ。

まあ結構ネタとしてやってみたので目に入らなかったかもしれないが、

それにしても暑い。雲が出ているが、俺が歩くのと同時に動きやがり、なぜか雲の影に入れない。くそ、峠なのになんでこんな暑いんだ…。

風もないし誰もいない。そのためか、うぐいすの鳴き声がよく響き、

山を登っている感じがものすごくする。

切り通しを抜けると、碓氷川が見えてくる。

この川の上流には、これから行く碓氷峠がある。

となりの線路を、トロッコ列車が下ってきた。

このトロッコは、横軽の保線用車両として使っていたものを改造したもので、

現在は途中の峠の湯までトロッコ列車として運行している。

どうせ運行するならEF63で運行すればいいのに……。



遊歩道(アプトの道)入り口



道は廃線跡を通っている



EF63の試運転



猿の毛づくろい(去年撮影)



今年の切り通しの様子

しばらく歩くと、丸山変電所跡が見えてきた。
この変電所はアパート時代に作られたもので、廃墟として知られていた。
あまりに劣化しすぎたために、2003年に修復工事を行った。
現在はかなり綺麗になり、中には入れなくなってしまった。(らしい)
まあ虫嫌いな俺は周りの雑草にすら入れないけどね……。
丸山変電所を過ぎたあたりから、背中汗がすごいことになり始めた。



丸山変電所跡

たぶんシャツは肌に吸いついているのではないだろうか……。
ひいひい言いながら、峠の湯に到着。うっわああああ……
やっちゃったぜ……、シャツがびしょびしょだった。
汗かいただけでこんなになるとは、盲点だった……。
ベンチに座って、とりあえず替えの服に着替えよう。
濡れてしまったシャツを乾かしつつ、そこで峠の釜めしを広げる。
1年ぶりの対面である。具が多く、下のご飯が全く見えない。
具をかき分けてご飯とともに食う。うん、やはり美味しいな。
飯を食い終わり、ぼーっとしていると、峠の湯から出てきたばあさんに
声をかけられた。



廃線跡

ばあさん「どっからきたんですか」
俺 「神奈川県知ってます？」
ばあさん「そりゃあがっこ行ってるなら、知ってますでしょう」
見た目より若い頭をしていた。
ううむ、あまりぼけてはいなかったか……。
どうやら松井田から来たらしく、峠の湯の年間パスも持っているらしい。
毎日のように温泉に入りにくるそうだ。



トロッコ列車

ばあさん「山登りですか」
俺 「そうです」
ばあさん「はあ？」
ぼけてはいなくとも耳は遠くなっているらしかった。
ばあさん「ではお先に」
そう言って、ばあさんは山を降りる連絡タクシーに乗っていった。
さて、俺も山登りを再開するか……。
まだシャツは乾いていないが……。
ここからは旧線(アパート時代)の廃線跡に入る。
言ってみればここからが本格的な山登りだ。
シャツを振りまわしながら、舗装された廃線跡を歩きはじめた。



新線と旧線の分岐点

(右が新線)



新線はそのままトンネルに入る

■めがね橋

※ここからは少し写真を大きくしてます

これから歩くのは、めがね橋までの約2キロ。2キロなんてすぐ着く、そう思ったあなた。

甘い、砂糖水より甘いですよ。

横軽の最急勾配が66.7パーミル。それがちょうどこの区間。とにかく坂がきつい。

つまり、66.7パーミルの勾配を2キロ歩くということ。

パーミルというのは、線路の勾配を表すもので、1000メートル進んだときの高低差を示すもの。

つまり、66.7パーミルは1キロで66.7m上がるということ。

これが横軽は約8キロ続くため、約500mも上がることになる。

ちなみに横川、軽井沢の標高差が約500mある。それほど、碓氷峠が難所だったことがうかがえる。



舗装されているのが廃線跡



第一号トンネル



廃線跡は山を進んでいく



電線が雲の中に消えていく



碓氷湖



トンネル内部から

第五号トンネルを抜けると、急に景色が開けた。
めがね橋に到着である。

ついでおおおおお！うおおおおお！

.....

叫びたくても叫べないのが日本というもの。

というわけで、遊歩道の終点、めがね橋である。

一年ぶりの対面。

お久しぶりです。



第五号トンネル出口



めがね橋からの風景



めがね橋

ちなみにここから先はまだ整備中らしい。
本当に行けるようになるかは知らんが。
さて、山登りを堪能したところで戻るか。
iPodを取り出し、音楽を聴き始める。もったいないことするなあ。
下りはじめて10分、第三号トンネルを抜けたところで
きゅっ
俺「うぐうっ！」
右足のすねがつった。体弱いな、おい……。
とても峠の湯まで歩けそうにないので、途中の碓氷湖に寄る。
ぐ、足が、もう……。
なんとかベンチに座る。足いてええ……。
仕方ないのでPSPやりながら少し休憩。手は疲れてないからな。
ああ、いい感じだなあ。静かだなあ、寝たいなあ。
が、最近は盗難がひどくなってるのでそんなことはしない。
30分くらい休憩して出発。がんばれ俺、峠の湯はすぐそこだ！
下るだけでひいひい言いながら、峠の湯に到着。
着いた……。疲れた……。眠い……。
風呂入ろうかな、と峠の湯の入り口を見る。
ちなみにこの峠の湯、なんかレストランやら休憩所やらを兼ねている
らしいのだが、入るだけで金を取られる。正直言って非常にうざい。
300円くらいだったら入ろうかなと、思ったのだが。
大人(中学生以上) 500円
ああもうだめだ、アウト。絶対入らない。誰が入るものか。
仕方ないのでトロッコ乗車場のベンチで涼む。
この辺の山は建物の近くでしか携帯の電波が届かない。
で、受信メールを見ると、信夫からメールが来ていた。
信夫でいろいろと遊んでいると、ちょうどトロッコが来た。
椅子が木でできていて、正直尻が痛い。これに20分も乗るのか……。
乗り心地が悪いトロッコからぼーっと外を見る。
ああ、眠い。どっか冷房が効いているところで寝よう。
合席のガキがうるせーなあ。
20分たつと到着。見た感じ家族連れとなんかおっさんしかいない。
中学生は俺だけか……。
資料館の休憩所に向かい、その椅子に座って寝る。
疲れた……。
おやすみい……。



封鎖された第六号トンネル



今年撮影のめがね橋



トロッコ列車(峠のシェルパ君)



トロッコからの眺め



……うるせえ、ガキどもがうるせえ……。

寝始めた途端に家族連れが何組もやってきて、休憩所で騒ぐ。
とはいえ、うるさいからと言って冷房の効いてる無料で休めそうな場所は
ここぐらいしかないのだ。くそ、なんだってこんな時に……。

結局眠れず、あまりにうるさい休憩所を脱出。外のベンチに座る。
が、今度は近くのおっさんがタバコを吸い始めた。

俺が座ったベンチの近くに灰皿があるのだ。なんなんだよ！

また逃げて189の近くのベンチに座る。ちょうど雲ってきた。

ああ、まだシャツ乾いてないよ。山登りに振って歩いたのに。
こりゃしばらく使えないな。どうしたものか。

iPodの時計を見ると、まだ15時だ。乗る列車は16時31分を予定。

もういいや、ここにいるよりは駅にいたほうが100倍ました。
文化むらを出て、駅前のベンチに座る。パラソルが出てて涼しかった。
おやつということで駅のアイス自販機でアイスを購入。

おお、おつりに平成22年製の10円玉が出てきたぜ！

なんとなくメールで友達に自慢してみた。返事はこなかった。

ぼーっとしていると、15時53分発の電車がやってきた。

やべっ、115系じゃん！乗らなきゃ！

急いで乗車。とは言っても田舎なので人はほとんど乗っていない。
車体全体に群馬デスティネーションキャンペーンのラッピングが
されていた。おそらく朝に高崎で見たやつだろう。

むう、予測では16時31分発の電車に入ると思っていたが……。

まあ早く高崎に着けるからいいか。前の方のボックス席を占拠。

定刻どおり、15時53分、横川駅出発。

あ、斜め向かいのボックスにでかいハチが……。

窓を開けて風を受ける。台風みたいな暴風に耐えられず結局閉めた。

相変わらず向こうにハチがいたが、松井田で乗ってきたおっさんのカバンに
潰されてた。おっさん強ええ……。

その恨みか、ぼーっと外を眺めていたら俺がハチの襲撃にあった。

やっべ、移動しよっ。大の虫嫌いの俺、近寄ってきただけでやばい。

別のボックスに逃げると、移動した先に来るのだ。

俺がなにをした!? 前世の俺はハチになにかしたのか!?

回避しまくって高崎到着。刺されずに済んだのが本当に奇跡だと思った。



信越本線高崎行き(115系)



車窓？



見えにくいかと思いますが

真ん中へんに死神がいるはずです

ここまで聴いてきた音楽

■山下り～高崎

くるり

Girls Dead Monster

11eyes OST(ゲーム版)

■そして鉄研旅行へ……

暇ができたため、高崎駅周辺を少しぶらぶらすることにした。

本屋はどこだ……？

ヤマダに行って試用 iPad で本屋の場所を調べ、本屋に行って本を買う。

少し重くなったバッグを抱えて、入場券でホームに入る。

今日はSLみなかみ号の運転日なのだ。

SLが来るのを待っていると、貨物ホームに貨物列車が来た。

げっ、牽引機EF81じゃん！

このEF81、ついこの前まで寝台特急北斗星の専用牽引機だったやつ。

新しいEF510-500番台が来たため、EF81は余ってしまったわけだ。

北斗星専用色が見れるのは恐らく今だけ、撮らなければ。

写真を撮り、水上の方を見ると、SLがこちらに来るのが見えた。

急いで跨線橋を渡り、カメラを構える。

日が入らない1番線に入ったため、流し撮りになってしまった。

SLのくせに妙に入線速度はやいな……。

撮ってすぐに前に移動。早く撮らないと……！

先頭に行き、SLを撮る。

5分もしないうちに、SLは客車を切り離して車庫に戻ってしまった。

この客車どうするんだろ……？

客車を撮って時間をつぶしていると、DE10がやってきた。

EF65-501とかEF58とか来るのを期待してたのに……。

まあ来るわけないか。

そのまま客車を引いていってしまった。

さて、暇だ。入場券があるので、新幹線の待合室に行こう。

普通入場券で新幹線のコンコースに入れるのは本当にうれしい。

なんせ一番静かな新幹線の待合室に入ることができるのだ。

ふう、疲れた……。

テーブルに荷物を置き、椅子に座って休憩。

少し金を整理。うん、まだ金はあるな……。

いい加減シャツも乾いたのでトイレで着替え。逆に今まで着てたシャツが濡れている。もういいや、こいつはあきらめよう。

時間になったので駅を出て駅に隣接しているデパートへ。

その中のスターバックスコーヒーでコーヒーを飲む。

ああ、いい感じだ。落ち着く……。

友達とメールしながら、落ち着いた時間を過ごす。

さて、今18時30分だ。これから上野まで戻らなければならない。

コンパス時刻表で高崎線の時刻を調べる。

次の電車が……、18時57分か……。

その次の19時17分発で大宮まで行こう。



115系の並び(高崎駅にて)



EF81-81による貨物列車



SLみなかみ号



DE10-1705



SLみなかみ用12系客車

もっと本数があるかと思ったが、そうでもなかった。

19時17分発湘南新宿ライン国府津行きで大宮に向かう。

高崎始発なので座ることができた。

大宮で降りるのは、時間があるためぶらぶらしようと思ったからだ。

金曜の夜だからか、大宮に近づくにつれて人が多く乗ってくる。

ゲームして暇つぶし、20時33分、大宮到着。

さて、暇だ。集合時刻までまだ2時間ある。

友達とのメールも飽きたので、とりあえず夕飯を食うことに。

駅の売店でパンを購入。ほかにも食料と飲み物を買う。

で、駅弁屋でカツサンドを購入。これはムーンライトえちごで食う。

ベンチでとりあえずパンを食う。疲れたなあ……。

サラリーマンがちらちら俺を見る。珍しいのだろう。

まだ時間があるのでコンコースのBOOK EXPRESSで立ち読み。

雑誌を軽く1時間くらい読んでいた。

目に止まったマンガを一冊購入。面白そうだな……。

高崎線のホームに行くと、反対ホームに鉄オタらしき人がちらほら。

そうか、そろそろあけぼのが通過する時間か……。

夜だからみんなゲバ(三脚)を使っている。

みんなゲバ使わないと撮れないんだ……。

と、そこに183系のホームライナーが来た。

これでまずバルブ(撮影方法の一つ)の練習をする。

とりあえず、大成功。ゲバなんか俺には必要ないぜ！

撮り終わったので鉄オタがいるホームに行く。

一人だけゲバなしで来ていることに全員不審そうな顔をしてきた。

いやいや、ゲバなくても撮れるよ？

はい、ちゃんとブレずに止まりました。俺もうバルブの神だわ。

(調子にのってます、ばかですね)

さて、上野に行きますかあ。

大宮22時07分発、高崎線上野行き。

乗った最後尾の車両には誰も乗っていないかった。

またボックスを占拠して、さっき買ったマンガを読む。

眠い……、寝たい……。

マンガを読み終わったあと、尾久の車両所を見る。

EF510-500がいっぱいいる。なにに使うつもりなんだ？

22時33分、上野到着。

着いたのは6番線ホーム。

こここそ、鉄研旅行の集合場所である。



大宮駅



ISO800 シャッター速度 1/20

183系 ホームライナー古河3号



ISO800 シャッター速度 1/5

寝台特急あけぼの 青森行き

ここまで聴いてきた音楽

■高崎駅

JIMSAKU

「BLAZE OF PASSION」

■高崎～大宮

カウボーイビバップ OST

PYLAMID

「TELEPATH」

■大宮～上野

ゲーム「G線上の魔王」より

「G線上の魔王

サウンドコレクション」

さあ、鉄研旅行へGO!(次ページへ)